

令和5年度第1回釜利谷協議会議事録（7月28日開催）

【出席者】（委員）	小林正稔	しらかばこども家庭支援ステーション	副所長
	佐藤幸也	関東学院大学	教授
	平野龍雄	釜利谷連合町内会	自治会長
	久保真紀	釜利谷高校PTA	会長
	岡本裕子		校長
（事務局）	金子博暢		副校長
	栗原哲也		教頭
	小曲昭男	総括教諭	（学校評価部会・キャリア部会）
	穂積啓之	総括教諭	（SSE部会）
	吉田真穂	総括教諭	（学力向上部会）
	飯田博一	総括教諭	（SLS部会）
	近藤純子	総括教諭	（地域協働部会）

1 校長あいさつ

- ・ご多忙の中、本日このようにお集まりいただき感謝している。令和5年度第1回を対面で開催させていただく。委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りたい。

2 釜利谷運営協議会委員及び会長、副会長の選出

会長：小林正稔 副会長：岡本裕子

3 協議

(1) 令和4年度釜利谷高等学校の学校運営について報告

- ・釜利谷高等学校のスクールミッション・スクールポリシー
学校要覧参照
- ・令和4年度学校評価報告・令和5年度学校目標について
学校要覧参照
- ・各運営部会より報告
資料参照

(2) 各委員より意見・感想

佐藤委員： 丁寧な資料を作成いただき感謝する。まずは、P7釜高祭（文化祭）の出展について、就職した卒業生が制作した物や作品などを展示することや、卒業生の在籍する専門学校などに出版依頼をするのもよいのではないかと。

P8 学校評価部会のアンケートはクロス集計するとよいのではないかと。

P21 教養ⅠⅡの教材を大学生に情報共有して、土曜教室で釜利谷高校生徒を教えないかと大学生に呼びかけてみたい。高大連携は以前よくやっていた。中学高校大学の連携は高校が拠点になることが多い。

P29 定期健康診断の結果で眼の疾病以上の割合が高く、コンタクトレンズの不適切な使用がみられると指摘されている。スマートフォンの使用による疾病が疑われる。

小林委員： 大学も生徒を集めるのに大変に苦労しているので、高校を卒業するまでに生活習慣を確立することが、大学に通える生徒を育てることにつながり、大学進学への道につながる。勉強ができることよりも人と関わっていけるように育てることが大切だ。

大学では生活習慣の確立した、大学に通える生徒を特定の分野で活躍できる生徒に育てる。生徒が活躍できる場があればよい。

平野委員： 地域の小学校や中学校と交流する機会があるが、児童生徒のあいさつはよくできている。ある中学校では部活動中の生徒が立ち止まって、一斉に挨拶してくれて驚いた。

子どもたちが地域で生き生きと活躍する場をつくっていかなければならない。今年は夏祭りで神輿ができなかった。子どもたちを参加させて活躍させたい。年上の人を尊重する姿勢や友達と仲良くする姿勢を育てなければならない。

児童生徒を取り巻く課題としては、自転車事故が多くなっていること、朝食の欠食率が高いことなどがある。清掃活動など地域住民と一緒にになって取り組めるものもあると思うので学校の授業として位置付けることで地域事業と関わって欲しい。

久保委員： 釜利谷高校の生徒は、私が学校に来るとあいさつしてくれる。バスの中で誰かが物を落とすと拾ってくれるような優しい生徒もいる。

一部の「やんちゃな生徒」の振る舞いで、学校の評判が悪くなるのは残念なことである。

4 事務局から

(1) 今後の日程

次回の釜利谷協議会 11月3日（祝・金）に釜高祭（文化祭）をご覧いただく。

日程は調整中であるが、例年10時30分から11時15分まで釜高祭をご覧いただき、11時15分から12時00分まで懇談会をしています。ご予約ください。

閉会